

編集後記

みなさんは、平成15年に制定された厚生労働省「臨床試験に関する倫理指針」(<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/kousei/i-kenkyu/rinsyo/dl/shishin.pdf>)が平成20年7月に全部改正され、平成21年4月より施行されていることをご存じでしょうか。われわれが行う臨床試験の多くはこの倫理指針の規制を受けることになっています。詳細は上記情報をご覧ください。この指針では、介入研究の中で侵襲性のある試験を実施する場合には、大学附属病院長会議 (UMIN) などのデータベースへの臨床試験情報登録・公開が必須となっています。また、国際的にも、臨床系医学雑誌では、臨床試験情報が登録・公開されていなければ論文を掲載しないとす傾向にあります。このような背景から、ANM・核医学でも規定を

設ける方向で検討しています。煩雑だ・面倒だと感じられることと思いますが、世の中の流れとしてこれを無視する訳にはいかないのが現状です。近日中に日本核医学会として正式にアナウンスされることとなりますので、あらかじめご承知ください。

ちなみに、私の施設では研究費応募前の時期にこの件に関する説明会があり、研究費応募に際して倫理指針を充分配慮するようとの指示を受けました。ちなみに私は、今年度、科学研究費の審査を仰せつかり、年末年始と審査に明け暮れました。調書記載内容から、応募者の多くが倫理指針のことを何も知らない様子が見て取られ、いささか唖然とさせられました。みなさんにおかれましては、今後各施設で説明会などの機会があれば、是非受講されることをお勧めいたします。

(絹谷 清剛)

核医学編集委員会

委員長：絹谷 清剛 (金沢大学医薬保険研究域医学系核医学)
 副委員長：佐々木 雅之 (九州大学大学院医学研究院 保健学部門医用量子線科学分野)
 委員：石井 一成 (近畿大学医学部 放射線医学講座 放射線診断学部門)
 犬伏 正幸 (放射線医学総合研究所 分子イメージング研究グループ)
 河邊 譲治 (大阪市立大学大学院医学研究科 核医学科)
 河村 和紀 (放射線医学総合研究所 分子認識研究グループ)
 久慈 一英 (埼玉医科大学国際医療センター 核医学科)
 下瀬川 恵久 (大阪大学大学院医学系研究科 核医学講座)
 立石 宇貴秀 (横浜市立大学大学院医学研究科 放射線医学講座)
 橋本 順 (東海大学医学部基盤診療学系 画像診断学)
 東 達也 (滋賀県立成人病センター研究所)
 渡部 浩司 (大阪大学大学院医学系研究科 医薬分子イメージング学寄附講座)

「核医学」第47巻1号 平成22年2月26日 発行 本号定価 ¥1,800

編集兼発行者 絹谷 清剛

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-45 (社)日本アイソトープ協会本館3階

発行所 一般社団法人日本核医学会

振替口座 00180-5-741770 番

電話東京 (03) 3947-0976 FAX (03) 3947-2535

E-mail: anm@xvg.biglobe.ne.jp

ホームページ: <http://www.jsnm.org/>

印刷所 株式会社海川企画

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-51-1

電話 (03) 3806-0961 (代) FAX (03) 3806-0848

広告申込所 〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8 電話 (03) 5226-2791 (代) 日本医学広告社